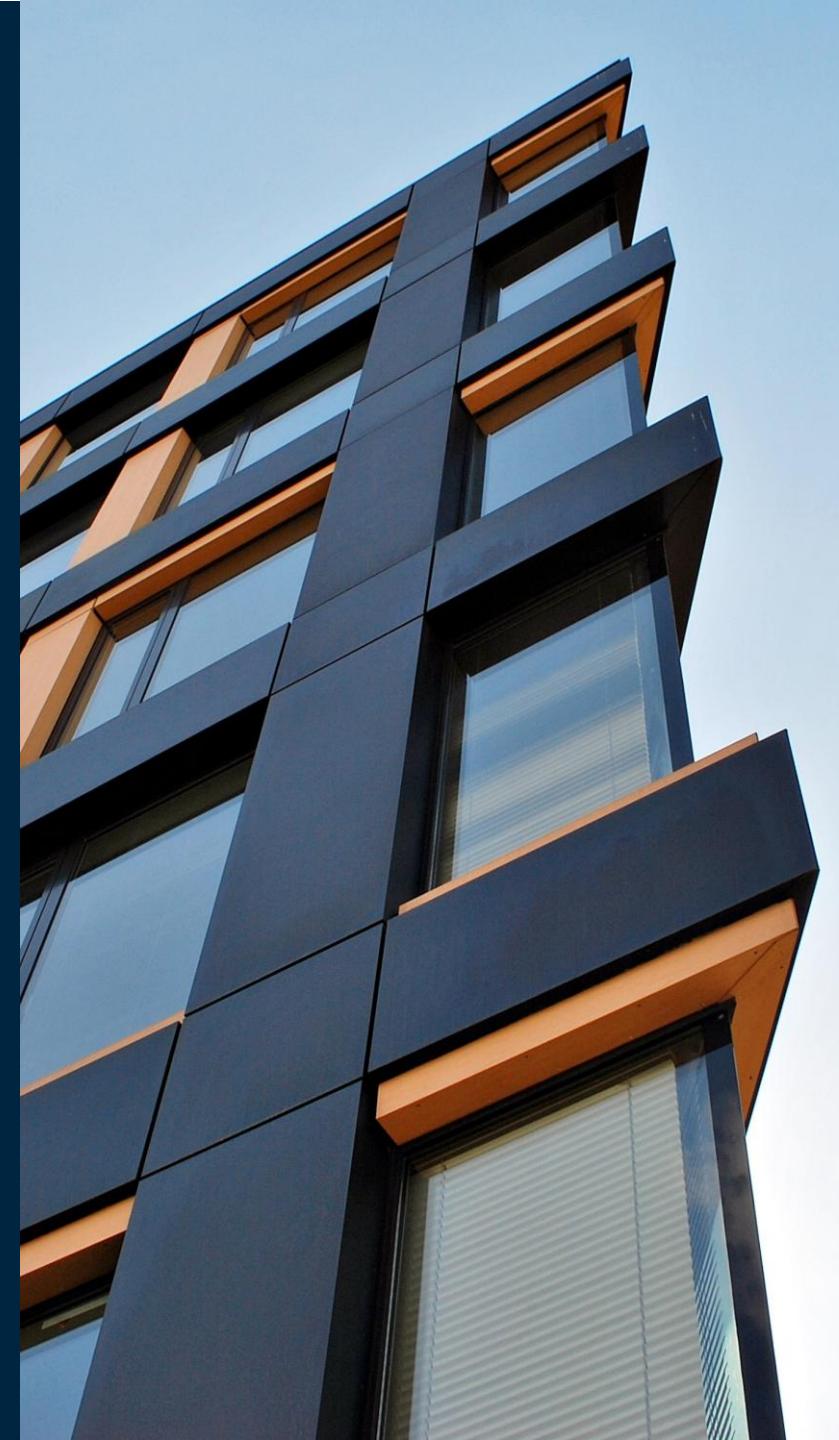


**Brookfield**

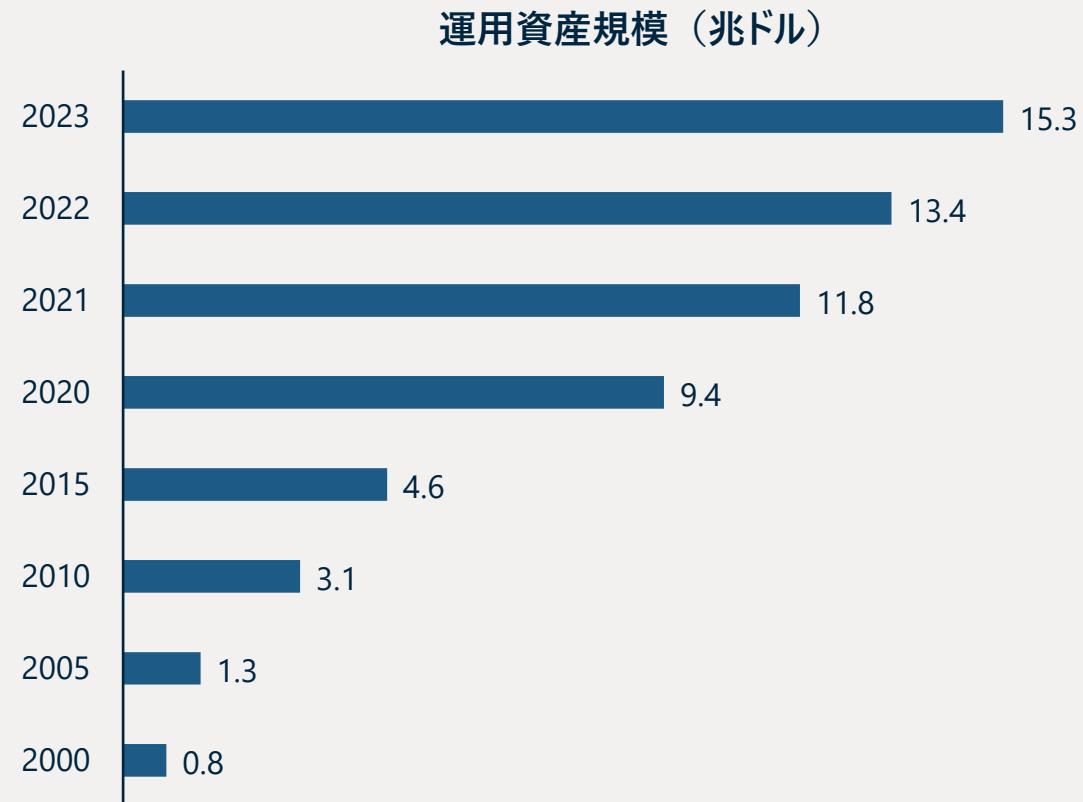
# プライベート資産を 用いたリスク分散



# プライベート市場は著しい成長を遂げている

## 主な成長ドライバー3つ

- » 需要：ポートフォリオの強化に取り組む投資家
- » 金融商品の革新：規制の変化を背景とした投資機会の登場
- » 供給：オルタナマネージャーがより優れた投資構造・ソリューションを提供



出所：CAIS、2023年12月31日時点。

# 投資家はポートフォリオ分散ソリューションを求めている

グローバル株式と債券の相関はここ10年で急上昇

ローリング12か月で見るグローバル株式と債券の相関関係（2013年1月1日～2025年6月30日）



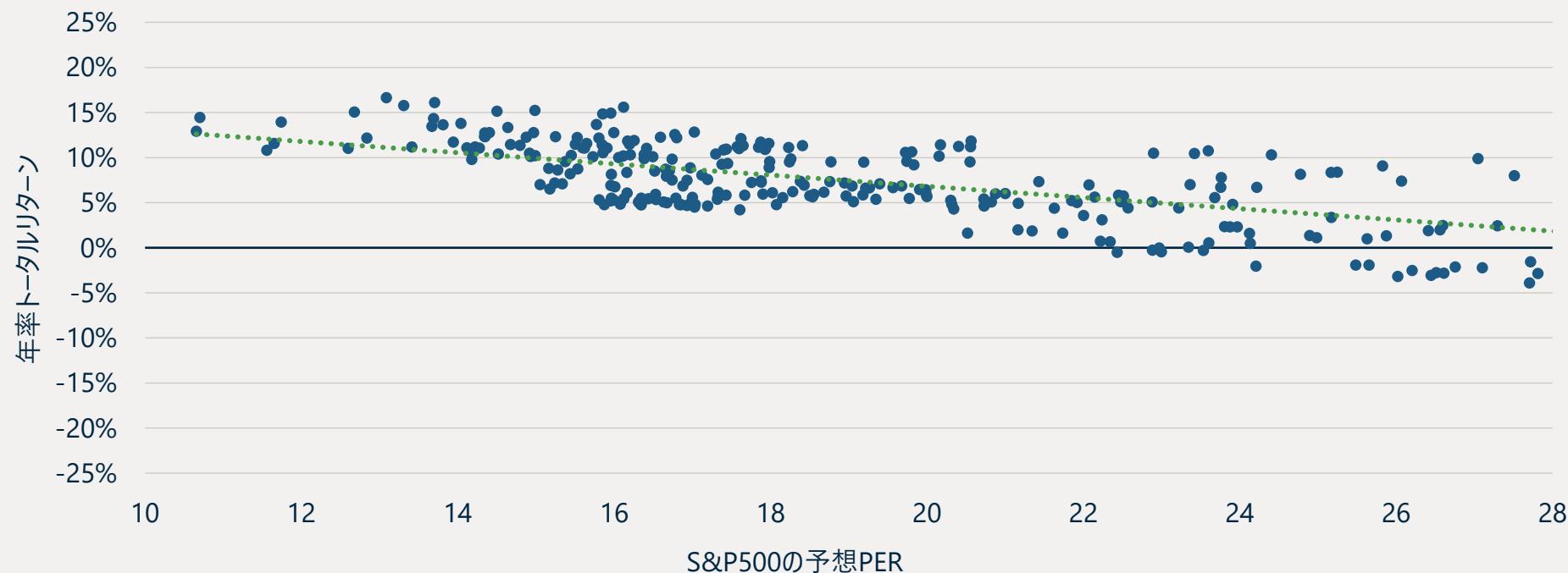
2023年、株式と債券の相  
関は10年来のピークである  
**0.88**に達した ...

...一方、2013年から2023  
年の相関は**0.26**だった。

過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。過去の運用実績は例示を目的としたものであり、いかなる投資についても将来の運用実績を予測または描寫するものではありません。インデックスは運用されておらず、投資家が直接購入することはできません。グローバル株式はMSCIワールド・インデックス、グローバル債券はブルームバーグ・グローバル総合インデックスで示しています。出所：ブルームバーグ、MSCI、モニングスター、ブラックフィールド、2025年6月30日時点。

# 過去データは、入口のバリュエーションが高いとリターンは低くなる (その逆も然り) 傾向を示している

S&P500の予想PERとその後10年間のリターン



2025年2月における  
S&P 500のPER倍率：  
30.3倍

足元におけるPER倍率  
は、明らかに上位10%の  
範囲内にある

足元において検討すべきはパブリック市場との相関が低い投資

過去の分析は将来の結果を保証するものではありません。予想株価収益率（PER）は、現在の株価を予想1株当たり利益（EPS）で割ることによって株式価値を推定する評価指標です。1988年から2014年後半までの各月を1つの点で表し、324か月にわたる月次データ（27年間×12）を示しています。各マス目は、その時点でのS&P 500の予想PERと、その後の10年間の年率換算リターンを示しています。出所：ブルームバーグ。2024年12月31日時点。

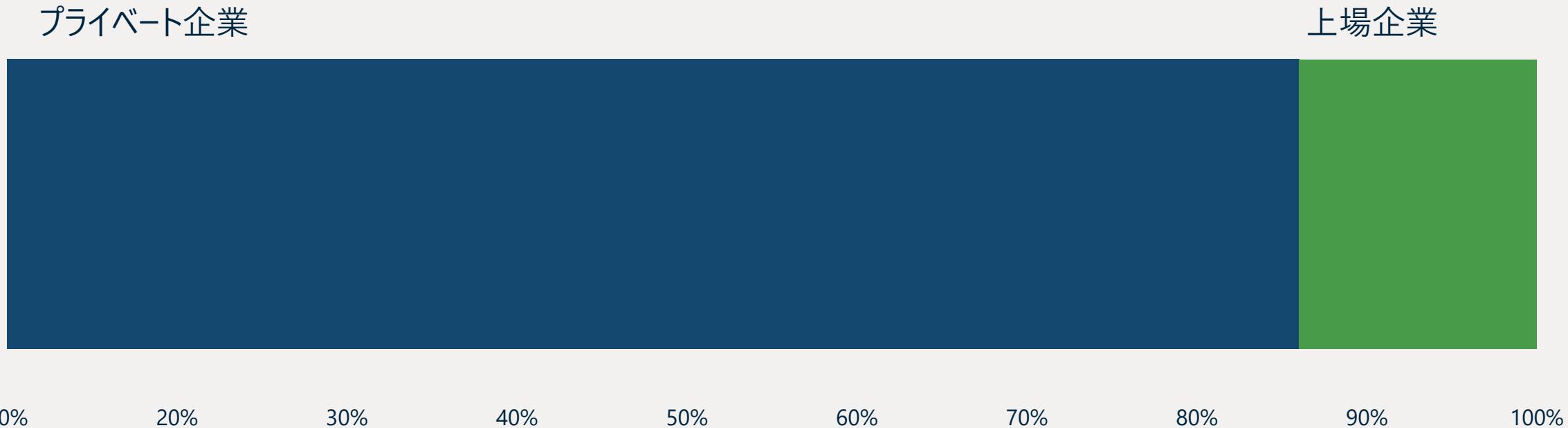
# 株式や債券からの分散を提供するプライベート市場へのエクスポージャー 相関分析

	グローバル株式	グローバル債券	上場不動産	上場インフラ	プライベートエクイティ	プライベートクレジット	プライベート不動産	プライベートインフラ
グローバル株式	1							
グローバル債券	0.42	1						
上場不動産	0.82	0.56	1					
上場インフラ	0.75	0.57	0.87	1				
プライベートエクイティ	0.61	0.16	0.57	0.46	1			
プライベートクレジット	0.63	0.13	0.61	0.57	0.63	1		
プライベート不動産	0.18	-0.03	0.26	0.20	0.50	0.25	1	
プライベートインフラ	0.29	-0.02	0.31	0.39	0.47	0.46	0.29	1

過去の実績は将来の成果を示唆するものではありません。表示されているパフォーマンスは説明目的のみであり、いかなる投資の実績を予測または示すものではありません。各指数は運用されているものではなく、投資家が直接購入することはできません。世界株式は MSCIワールド・インデックス、世界債券はブルームバーグ・グローバル総合債券インデックス、上場不動産は FTSE EPRA Nareit ディベロップド・インデックス、上場インフラは FTSE グローバル・コア・インフラストラクチャー 50/50 インデックス（2014年12月31日以前の期間（2008年7月30日～2014年12月31日）については ダウ・ジョーンズ・グローバル・インフラストラクチャー・インデックス）により表されています。プライベート・エクイティは プレキン・プライベート・エクイティ・インデックス、プライベート・クレジットは クリフウォーター・ダイレクト・レンディング・インデックス、プライベート・インフラは プレキン・インフラストラクチャー・インデックス、プライベート不動産は プレキン不動産インデックスを指します。出所：ブルームバーグ、クリフウォーター、FTSEラッセル、MSCI、プレキン、S&Pダウジョーンズ指数。データ期間は 2008年1月1日から2025年6月30日まで。

# 収益10億ドル超の企業のうち87%は非公開

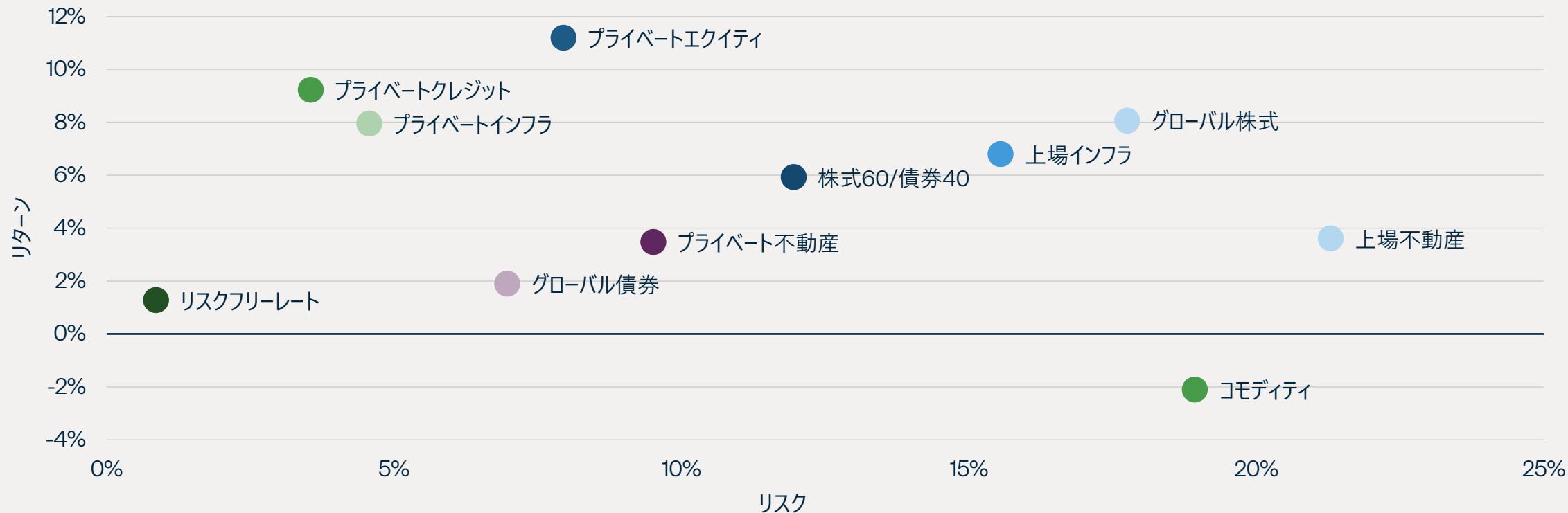
上場企業への投資と同時にプライベート企業への投資を行う事で、分散が更に向上



出所：キャピタルIQ。2024年12月31日時点。

# プライベート資産はポートフォリオの向上に寄与してきた

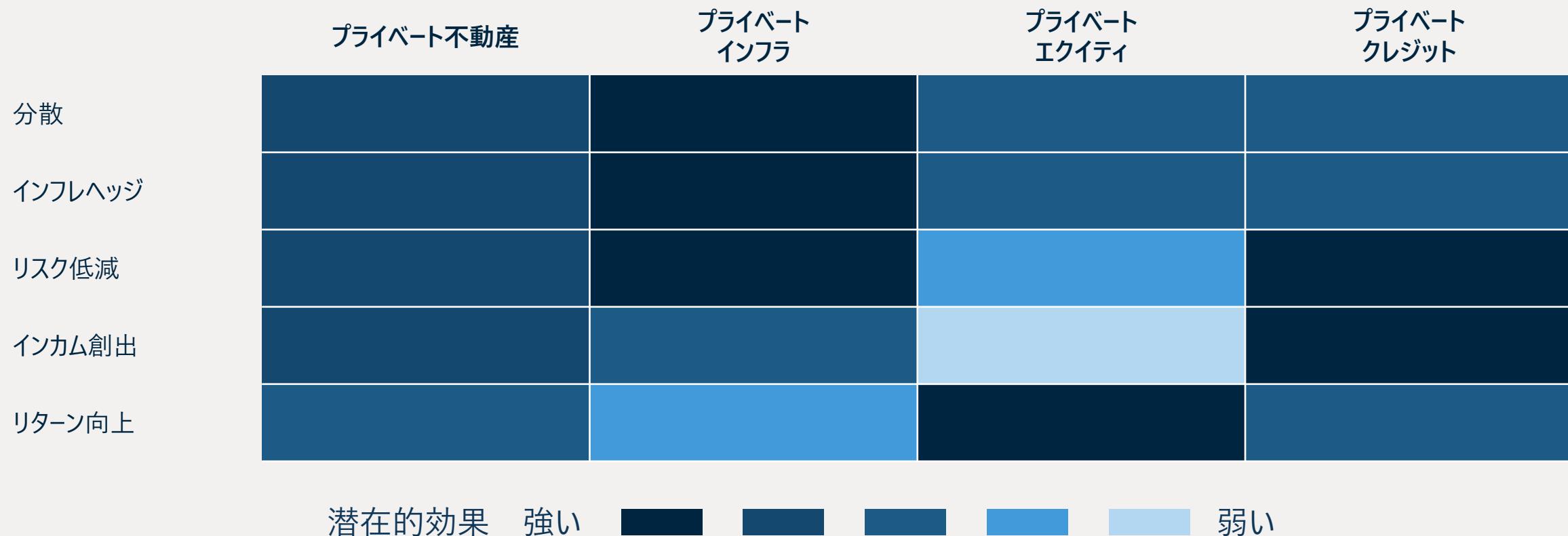
リスク／リターン分析（2028年1月1日～2025年6月30日）



過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。表示されているパフォーマンスは説明目的のみであり、いかなる投資の実績を予測または示すものではありません。各インデックスは運用されているものではなく、投資家が直接購入することはできません。グローバル株式は MSCI ワールド・インデックス、世界債券はブルームバーグ・グローバル総合債券インデックス、プライベート・エクイティはブレキン・プライベート・エクイティ・インデックス、プライベート・クレジットはブレキン・プライベート・クレジット・インデックス、プライベート・インフラストラクチャーはブレキン・インフラストラクチャー・インデックス、プライベート不動産はブレキン不動産インデックス、コモディティはブルームバーグ・コモディティ・インデックス、上場インフラは FTSE グローバル・コア・インフラストラクチャー 50/50 インデックス、上場不動産は FTSE Nareit オール・エクイティ REIT インデックスにより表されています。出所：ブルームバーグ、FTSE ラッセル、ICE データ・インデックス、LSEG データ＆アナリティクス、ブレキン、S&P ダウジョーンズ・インデックス。

# プライベート市場への投資はメリットの拡大につながる

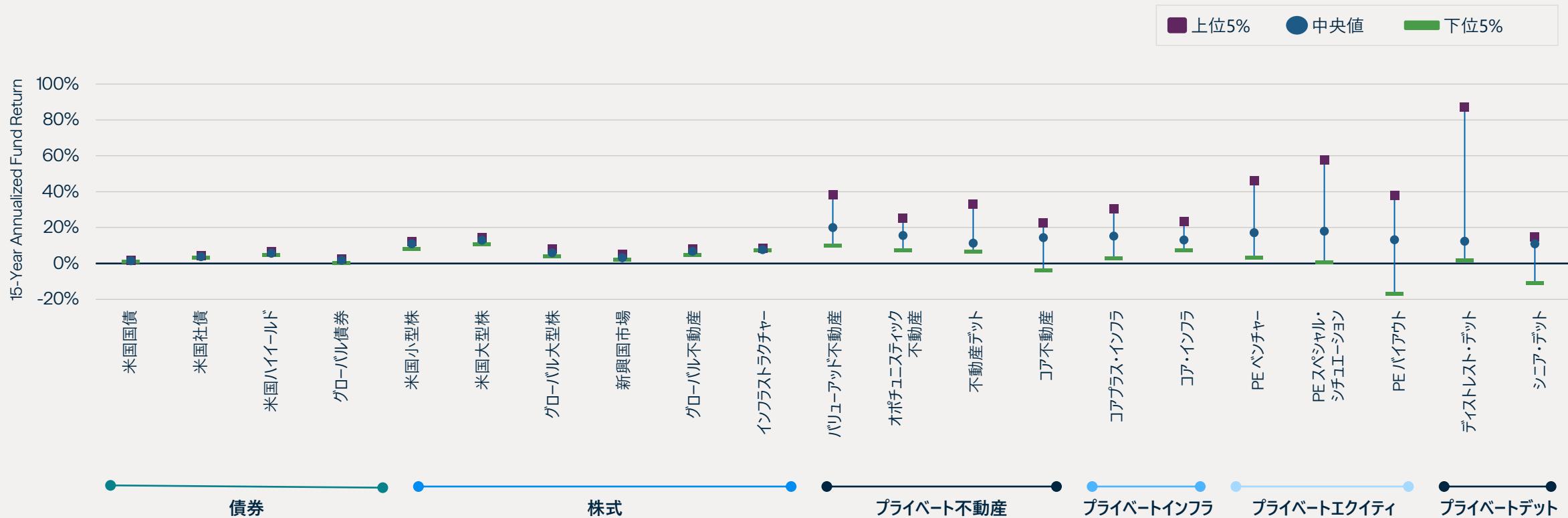
公開市場同様に多様のオポチュニティが提供されているが、明確な優位性を持つ



例示目的のみ。

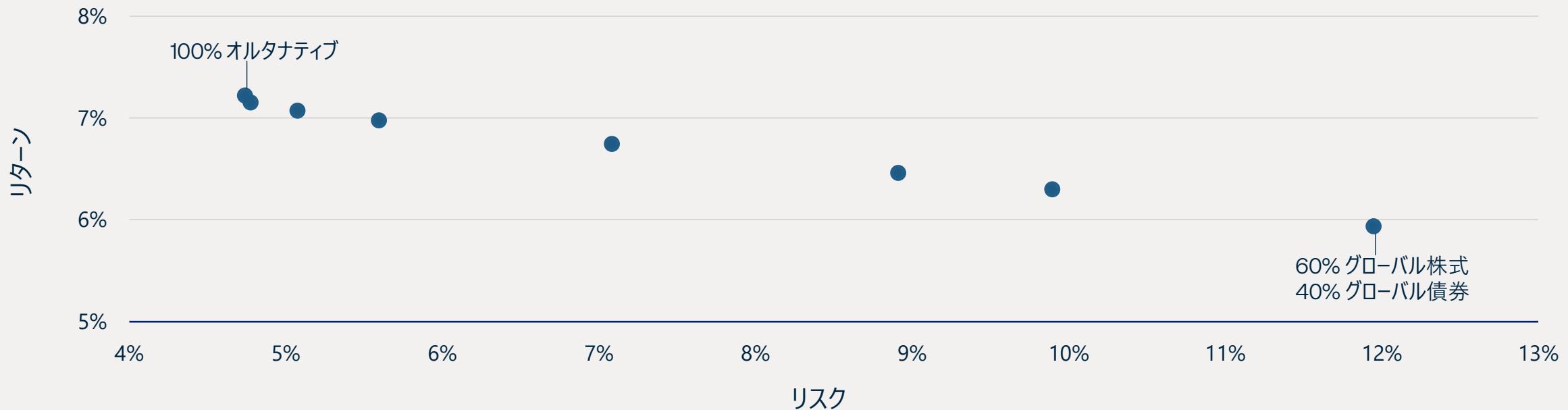
# プライベート投資へのアロケーションには専門知識が必要

## パブリック／プライベートの資産クラス別運用パフォーマンスの乖離



過去の実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。データは15年間の年率換算リターンです。債券および株式は、15年の運用実績を持つ米国オープンエンド型ファンドのそれぞれのモニングスター・ピアグループで表されます。プライベート不動産、プライベートインフラ、プライベートエクイティ、プライベートデットは、プレキンのピアグループによって表されています。プライベート資産クラスのリターンは、プレキンのデータの中で、ピントが2010年から2015年、清算済みに分類され、資金の最低95%がコール済み、かつ実現倍率(DPI) > 0に該当するプライベート・ファンドのネットIRRに基づいています。出所：モニングスター、プレキン。データは2024年9月30日時点。

# 多様なオルタナティブ投資の組み合わせは、ポートフォリオのパフォーマンスを向上してきた



Alternatives equally allocated to Private Credit, Private Equity, Private Infrastructure and Private Real Estate.

10-year annualized return and risk (measured by standard deviation, a measure of the amount of variation of the values of a variable about its mean). Past performance is not indicative of future results. Diversification does not guarantee a profit or protect against loss. For illustrative purposes only. The data above do not represent the returns of a fund. An investor cannot invest in an index. Global Equities represented by MSCI World Index, Global Bonds by Bloomberg Global Aggregate Bond Index, Private Credit by the Cliffwater Direct Lending Index, Private Equity by the Preqin Private Equity Index, Private Infrastructure by the Preqin Infrastructure Index and Private Real Estate by the Preqin Real Estate Index. Please see disclosures for additional information. Source: Bloomberg, Cliffwater, MSCI, Preqin. For the period January 1, 2008, through June 30, 2025.

# 重要情報

当資料内で引用されたインデックスは運用されておらず、投資家がインデックスに直接投資することはできません。インデックスのパフォーマンスは例示のみを目的として記載されており、いかなる投資のパフォーマンスも予測または表示するものではありません。当該比較に関連して、記載されたインデックスとブルックフィールドの戦略、コンポジットまたはファンドへの投資との間には、ボラティリティや規制上および法律上の制約の違いなど、重大な要因が存在する可能性があります。ブルックフィールドは、第三者のインデックス・スポンサーからインデックスに関するすべてのデータを取得しており、当該データは正確と考えていますが、その正確性に関する明確な表明も行うものではありません。インデックスは運用されておらず、投資家がインデックスに直接投資することはできません。

ブルックフィールドは、第三者のインデックス・スポンサーからインデックスに関するすべてのデータを取得しており、当該データは正確と考えていますが、その正確性に関する明確な表明も行うものではありません。インデックスは運用されておらず、投資家が直接購入することはできません。ブルックフィールドは、当資料で参照されたインデックスを所有しておらず、その構築または日々の管理に関与していません。当資料に記載されたインデックスの情報は、お客様への情報提供のみを目的としており、ブルックフィールドの運用商品が同様の結果を達成すると暗示または予測するものではありません。当該情報は予告なく変更されることがあります。当資料で参照されたインデックスは、いかなる報酬、費用、販売手数料または税金も控除していません。インデックスに直接投資することはできません。インデックス・スポンサーは、インデックスおよび関連データの「現状のまま」での使用を許可しており、これに関する明確な保証も行わず、インデックスまたはインデックスに含まれる、関連する、もしくはそこから派生するデータの適合性や品質、正確性、適時性、完全性を保証せず、それらの使用に関連して一切の責任を負いません。インデックス・スポンサーは、直接的、間接的、特別、偶発的、懲罰的、結果的またはその他の損害（利益の損失を含む）について一切の責任を負いません。インデックス・スポンサーは、ブルックフィールドまたはそのいかなる運用商品やサービスの後援、是認または推奨も行うものではありません。別段の注記がない限り、すべてのインデックスはトータルリターン・インデックスです。

MSCI は、ここに含まれるMSCIデータに関して、明示的または黙示的な保証または表明を行わず、いかなる責任も負いません。MSCIのデータをさらに再配布したり、他の指数や証券、金融商品の基礎として使用することはできません。当資料はMSCIによって承認、審査、作成されたものではありません。

## インデックスの定義

ブルームバーグ米国総合インデックスは、米国で取引される中期投資適格債券を対象とする幅広い時価総額加重債券市場指数です。

ブルームバーグ・コモディティ・インデックスは、商品先物契約を通じて商品市場を追跡

する広範に分散されたインデックスです。

プレキン・プライベート・インフラストラクチャー・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、投資家がプライベート・インフラ・ポートフォリオで平均的に獲得したリターンを指標化したものです。過去のデータポイントは、時間が経過しても再計算されません。予備的な四半期は、その時点の全構成員が揃う3四半期遅れで確定されます。インデックスの各四半期ポイントのファンドユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変化する可能性があります。

クリフウォーター・ダイレクト・レンディング・インデックスは、特定の適格性要件を条件として、上場および未上場の両方を含む事業開発会社（BDC）の原資産の資産加重パフォーマンスで表される。米国ミドルマーケット（中堅）企業貸付のレバレッジなし報酬控除前パフォーマンスを測定する指標です。

ブルームバーグ・バークレイズ米国総合インデックスは、米国で取引される中期投資適格債券を対象とする幅広い時価総額加重債券市場指数です。

ブルームバーグ米国ハイ・イールド・インデックス（ブルームバーグ・ハイイールド債）は、固定金利の非投資適格債券のすべてを網羅しています。ユーロ債および新興市場と指定された国々（ムーディーズ、S&P、フィッチの中央値を使用したソブリン格付けがBaa1/BBB+/BBB+以下）の債券発行は除外されますが、非EMG諸国の発行者によるカナダおよびグローバル債（SEC登録）は含まれます。

モニシングスター LSTA 米国レバレッジド・ローン 100 インデックスは、米国レバレッジド・ローン市場のパフォーマンスを測定するために設計された時価総額加重型のインデックスです。このインデックスは、より大きなベンチマークである モニシングスター-LSTA 米国レバレッジド・ローン・インデックスから抽出された ローン・ファシリティ100 件で構成されています。

消費者物価指数（CPI）は、財・サービスの固定市場バスケットの時間の経過に伴う価格変化の平均を測定する指標です。

当資料では、ダウ・ジョーンズ・ブルックフィールド・グローバル・インフラストラクチャー・インデックスの開始以前は、ガス、水 & 複合公益、素材、石油・ガス・パイプラインなど、インフラ関連セクターのデータストリーム・ワールド・インデックス・シリーズをインフラストラクチャーのプロキシとして使用しています。これらのインデックスはトムソン・ロイター・データストリームが作成しています。データストリーム・ワールド・パイプライン・インデックスは、トムソン・ロイター・データストリームが作成した世界のエネルギー・パイプライン企業のインデックスです。

ダウ・ジョーンズ・ブルックフィールド・グローバル・インフラストラクチャー・インデックスは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスによって算出・維持されており、マスター・リミテッド・

パートナーシップを除き、年間キャッシュフローの70%以上がインフラ資産の所有・運営に由来するインフラ企業で構成されています。

FTSE ナリート・オール・エクイティ・リート・インデックスは、浮遊株調整後、時価総額加重平均の米国エクイティ・リート・インデックスです。同インデックスの構成銘柄には、不動産担保付抵当権以外の適格不動産資産を総資産の50%以上保有するすべての適格リートが含まれます。

FTSEグローバル・コア・インフラストラクチャー-50/50インデックスは、市場参加者に業界の定義によるインフラの解釈をもたらし、一定のインフラ・サブセクターへのエクスボージャーを調整しています。セクター別構成比率は、半年ごとのレビューの一環として、広範な3産業セクターについて、公益事業50%、7.5%を上限とする道路／鉄道を含む運輸30%、パイプライン、衛星、電気通信塔を含むその他セクター20%の比率に従って調整されます。各グループ内の個別銘柄の比率は、投資可能時価総額の割合で調整されます。

HFRIファンド加重インデックスは、HFR データベースに報告する単一運用会社のファンドから構成されるグローバルな均等加重インデックスです。構成ファンドは、毎月、すべての手数料控除後のパフォーマンスを米ドルで報告し、最低5,000万ドルの運用資産または 1,000 万ドルの運用資産、および12ヶ月間のアクティブ・パフォーマンスの実績を有しています。HFRIファンド 加重コンポジット・インデックスには、ファンド・オブ・ヘッジファンズは含まれていません。

MSCI EAFEインデックスは、米国とカナダ以外の先進国市場（欧州、オーストラリア、極東）の株式市場のパフォーマンスを測定するために設計された株式市場インデックスです。

MSCIワールド・インデックスは、23の先進国市場の大型株と中型株を対象としています。このインデックスは、各国の浮動株調整後時価総額の約85%をカバーしています。

NCREFIオープンエンド分散型コア・エクイティ・ファンド・インデックス（NFI-ODCE）は、時価総額加重、報酬控除前、時間加重のリターン指標で、コア不動産戦略オープンエンド型合同運用の大型ファンドのパフォーマンスを計測しています。

S&P 米国 リート・インデックスは、米国に所在する上場不動産投資信託の投資可能ユニバースを定義・測定しています。

# 重要情報

## プレキン・インデックス

プレキン・プライベート・クレジット・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、投資家がプライベート・クレジット・ポートフォリオで平均的に獲得したリターンを指数化したものです。過去のデータポイントは、最新2四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはありません。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

プレキン・プライベート・デット・ディストレスト・デット・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、プライベート・デット・ディストレスト・デット・ポートフォリオから投資家が得たリターン平均を指數で表したもので、プライベート・デット・ディストレスト・デットは、破産申請を行った企業、または近い将来に破産申請を行う可能性が高い企業へのデット投資を表します。過去のデータポイントは、最新2四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはありません。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

プレキン・プライベート・デット・シニア・ダイレクト・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、プライベート・デット・シニア・ダイレクト・ポートフォリオから投資家が得たリターン平均を指數で表したもので、プライベート・デット・シニア・ダイレクトは、株式ではなくデット証券と引き換えて行われる、中小企業に対する弁済順位が最も高いローンへの投資を表します。過去のデータポイントは、最新2四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはありません。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

プレキン・プライベート・エクイティ・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資資金額に基づいて、投資家がプライベート・エクイティ・ポートフォリオで平均的に獲得したリターンを指数化したものです。過去のデータポイントは、最新2四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはありません。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とと

プレキン・プライベート・エクイティ・バイアウト・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、プレキン・プライベート・エクイティ・バイアウト・ポートフォリオから投資家が得たリターン平均を指數で表したもので、プレキン・

プライベート・エクイティ・バイアウトは、多くの場合、運営面や財務面での改善を目的に行われる、確立された企業への投資を表します。過去のデータポイントは、最新2四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはありません。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

プレキン・プライベート・エクイティースペシャル・シチュエーション・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、プレキン・プライベート・エクイティースペシャル・シチュエーション・ポートフォリオから投資家が得たリターン平均を指數で表したもので、プレキン・プライベート・エクイティースペシャル・シチュエーションは、業績不振または取引上の困難に直面している企業の活性化を目的とした投資を表しています。過去のデータポイントは、最新2四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはありません。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

プレキン・プライベート・エクイティ・ベンチャー・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、プレキン・プライベート・エクイティ・ベンチャー・ポートフォリオから投資家が得たリターン平均を指數で表したもので、プレキン・プライベート・エクイティ・ベンチャーは、長期成長の可能性を持つ新規事業または成長過程にある事業への投資を表すものです。過去のデータポイントは、最新2四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはありません。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

プレキン・インフラストラクチャー・インデックスは、実際の投資額に基づいて、投資家がインフラ・ポートフォリオで平均的に獲得したリターンを捉えたものです。

プレキン・インフラストラクチャー・コア・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、プライベート・インフラ・コア・ポートフォリオから投資家が得たリターン平均を指數で表したもので、インフラストラクチャー・コアは、運営リスクが低く、すでにリターンを創出している必要不可欠な資産への投資を表します。これらは通常、透明性の高い規制・政治環境が整った先進国におけるセカンダリー・ステージの資産です。投資先資産の主な特徴には、独占的地位、実証された需要、予測可能で誤差が少ない長期的に安定したキャッシュフローを含みます。過去のデータポイントは、最新2四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはありません。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

タの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

プレキン・インフラストラクチャー・コア・プラス・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、プライベート・インフラ・コア・プラス・ポートフォリオから投資家が得たリターン平均を指數で表したもので、インフラストラクチャー・コア・プラスは、運営リスクが低く、すでにリターンを創出している必要不可欠な資産だが、景気サイクルの影響を受けやすく、景気感応度が高いため、需要リスクや市場リスクにさらされている投資を表します。しかし、長期契約、政府または規制による長期のブライシング支援、競合他社の参入障壁が高いといった特徴を持っており、これらが前述リスクの抑制に寄与します。過去のデータポイントは、最新2四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはありません。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

プレキン・プライベート不動産インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、プライベート不動産ポートフォリオから投資家が得たリターン平均を指數で表したもので、過去のデータポイントは、最新2四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはありません。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

プレキン・プライベート不動産コア・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、プライベート不動産コア・ポートフォリオから投資家が得たリターン平均を指數で表したもので、不動産コアは、相対的に低いリターンを創出する低リスクの不動産への投資を表します。投資物件は通常、主要市場に位置する主要物件タイプ（オフィス、小売、産業用、住宅）のものです。これら物件は安定稼働中のもので、維持管理が行き届いており、リーシングも好調、多くの場合クラスAの物件です。投資に際してレバレッジ殆ど必要とせず（0～30%）、追加の資本投資を必要とすることは稀です。過去のデータポイントは、最新2四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはありません。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

# 重要情報

プレキン不動産デット・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、プライベート不動産デット・ポートフォリオから投資家が得たりターン平均を指数で表したもので。不動産デットは不動産を担保に持つローンへの投資を表しており、メザニン・デット、優先株式、シニア・ローンなどを含みます。過去のデータポイントは、最新2四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはあります。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

プレキン不動産オポチュニスティック・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、プライベート不動産オポチュニスティック・ポートフォリオから投資家が得たりターン平均を指数で表したもので。不動産オポチュニスティックは、高リターンを提供する高リスク不動産への投資を表します。投資物件は通常、ニッチなセクターを含む不動産の主要市場、二次市場、新興市場に位置する、あらゆる不動産タイプの低クオリティー不動産です。これらの多くは、Aクラスへのアップグレードに向けて大幅な改良（開発、大規模な再開発、リポジショニング、再リースなど）を必要とします。過去のデータポイントは、最新2四半期分（暫定値）を除き、時間の経過とともに再計算されることはありません。四半期暫定値は、基準日時点の全構成員が揃う、3四半期遅れで確定します。インデックスの各四半期ポイントにおけるファンドのユニバースは、データの入手可能性に応じて、時間の経過とともに変更となる可能性があります。

©2026 Morningstar, Inc. All rights reserved. ここに記載された情報は、(1) モニングスターやそのコンテンツ提供者の所有物であり、(2) 複製または配布することはできず、(3) 正確性、完全性、適時性が保証されているものではありません。モニングスターおよびそのコンテンツ提供者は、この情報の利用に起因するいかなる損害についても責任を負いません。過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。

モニングスター・カテゴリーのピアグループ分類は、投資家が投資信託を比較する際に役立ちます。カテゴリー分類では、保有資産に基づいてポートフォリオを類似グループに分類します。モニングスターは、カテゴリーの構造と各カテゴリー内のポートフォリオを定期的に検証し、投資家のニーズに合致したシステムであることを確認しています。ポートフォリオは、過去3年間の平均保有統計に基づいて所定のカテゴリーに分類されます。ポートフォリオが新しく、履歴がない場合、モニングスターは、より恒久的なカテゴリーを割り当てる前に、そのポートフォリオがどのカテゴリーに該当するかを推定します。必要に応じて、モニングスターは、ポートフォリオの最近の変更に基づいてカテゴリーの割り当てを変更することができます。

## リスクに関する記述

オルタナティブ投資は複雑かつ投機的であり、全ての投資家に適したものではありません。オルタナティブ投資には高リスクが伴い、オルタナティブ投資ファンドの投資目標が達成される又は投資元本が返済される保証はありません。

資産クラスとして、プライベート・クレジットは多様なデット商品で構成されています。それぞれのリスク／リターン特性は異なるものの、プライベート（非上場）のクレジット投資では、資金調達の選択肢が限定的な企業へのオポチュニスティックな投資を模索するため、一般的に、上場のものと比較してデフォルト・リスクが高くなります。

プライベート・クレジット投資では、通常、発行体が投資適格未満または無格付けてあるため、より高いリスクの対価として利回りもより高くなります。

不動産関連商品への投資は、不動産の価値や賃料もしくは入居率・稼働率に影響を及ぼす可能性がある経済要因、法的要因、環境要因からの影響を受ける場合があります。

©2026 ブロックフィールド・プライベート・ウェルス・エルエルシーは、米国証券取引委員会（SEC）の登録プローパー・ディーラーであり、米国金融業規制機構（FINRA）と米国証券投資者保護公社（SIPC）の会員です。ブロックフィールド・プライベート・ウェルス・エルエルシーは、ブロックフィールドの完全子会社です。

本資料に含まれる情報は、教育および情報提供のみを目的としており、有価証券または関連金融商品の売買の勧説や勧誘の申し出を構成するものではなく、そのように解釈されるべきものではありません。本資料は市場全般、業界やセクターの動向、またはその他の一般的な経済・市場環境について論じており、機密情報として提供されています。ブロックフィールド・コボレーションおよびその関連会社（以下「ブロックフィールド」）が提供する製品の条件概要を示すものではありません。情報および見解は予告なく変更される場合があります。本資料の一部はブロックフィールドの内部調査に基づいて作成されており、一部はブロックフィールドによる様々な仮定に基づいておりますが、その仮定が誤っている可能性もあります。ブロックフィールドは、本資料に含まれる第三者提供の情報を含むいかなる情報の正確性または完全性についても検証（検証義務も含む）を行っておらず、検証したとみなすことできません。そのため、利用者はブロックフィールドが情報を検証済みであると依拠することはできません。本資料に記載された情報は、本資料作成日時点におけるブロックフィールドの見解および信念を反映しています。

本資料に記載されている意見は、ブロックフィールドおよびその子会社・関連会社の現時点での見解であり、予告なく変更される場合があります。ブロックフィールドおよびその子会社・関連会社は、これらの情報を更新する義務や、変更があった際に顧客へ通知する責任を負いません。本資料に記載された見通し、予測、ポートフォリオの構成比率は、あくまで本資料作成日時点のものであり、これもまた予告なく変更されることがあります。

過去の運用実績は将来の成果を保証するものではなく、投資の価値およびそこから得られる収益は変動する可能性があります。

## 将来予想に関する記述

当資料は、米国連邦証券法令、具体的に米国1934年証券取引所法（その後の改正を含む）第21E条、そしてカナダ証券法令における意義の範囲内における将来の見通しに関する記述を含む情報やそれらに基づく情報が含まれています。将来の見通しに関する記述は、事業戦略や投資戦略もしくは戦略遂行のための措置、競争力、目標、事業の拡大および成長、計画、見込み、将来の成功への言及など、将来の行動、事象または動向に関して、過去の事実の記述以外のすべての記述を含みます。これらの記述は、過去または現在の事実に厳格に関連しないという事実によって特定することができます。「予測」、「推定」、「期待」、「予想」、「想定」、「計画」、「考え」やその他の類似する用語は、これらの将来の見通しに関する記述を特定するために用いられます。将来の見通しに関する記述は、不正確な仮定や既知もしくは未知のリスクおよび不確実性によって影響を受ける可能性があります。そうした要素の多くは、将来の実際の結果や成果を決定する上で重要となります。そのため、いかなる将来の見通しに関する記述についても保証はありません。実際の結果や成果は大きく異なることがあります。これらの不確実性を踏まえ、これらの将来の見通しに関する記述に不当に依拠すべきではありません。

# Brookfield

